

2-②-d 自動レイアップ装置の開発

社会実装の姿

津田駒工業(株)



ターゲットユーザー

- ・航空機業界
- ・自動車業界
- ・建築・土木業界

ユーザーベネフィット

- ・自動化による省人化
- ・品質・生産性向上

差別化のポイント

- ・任意の角度で平面積層が可能
- ・45° ~90° の任意の角度でテープカットが可能
- ・端材削減、トリミング工程削減

フェーズ I の成果

企業での成果

- ・超音波ウェルダ溶着を用いた熱可塑性プリプレグシートの部分溶着による積層ヘッドの開発。
- ・カメラによるプリプレグ積層位置の確認方法の確立
- ・自動積層用吸着テーブルの開発
- ・自動レイアップ装置の商品化



進捗状況	原理・検証	技術開発	実証・事業化前
(開発ステージ)	○	○	○

フェーズ II 以降の取組

- ・自動レイアップ装置をICCへ導入
- ・自動レイアップ装置を用いて積層体の製作～成形品製作